

北海道高等学校文化連盟

第10回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 主 管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟空知支部
- 3 後 援 北海道教育委員会、北海道高等学校ユネスコ連絡協議会
- 4 当 番 校 北海道岩見沢農業高等学校
岩見沢市並木町1番地5
TEL 0126-22-0130
FAX 0126-22-5362
- 5 目 的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場を設ける。
- 6 テ ー マ 知ることから始まるボランティアネットワーク作りを！
- 7 期 日 平成25年10月29日（火曜日）12：00～17：00
10月30日（水曜日） 9：00～12：00
- 8 会 場 まなみーる（岩見沢市民会館／文化センター）
岩見沢市9条西4丁目1番地1 TEL 0126-22-4233
岩見沢広域総合福祉センター
岩見沢市11条西3丁目1番地9 TEL 0126-22-2960
- 9 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- 10 参加経費 1校 1,000円（事前振り込みまたは当日受付で徴収します。）
- 11 研修内容
 - (1) 全体講演 演題 福島とウクライナとわたしたち
講師 宍戸慈（ししど・ちか）氏
NPO法人 子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク理事
任意団体 peach heart 共同代表
 - (2) 分科会
第1分科会～第12分科会・・・詳細は別紙「分科会のご案内」参照

12 日 程 第1日目 (10月29日 火曜日)

- 12:00~12:30 受付
- 12:30~12:50 顧問・代表者会議
- 13:00~13:20 開会式
- 13:30~15:00 全体講演
- 15:15~15:30 総文祭報告
 - ・北海道岩見沢農業高等学校)
- 15:30~15:55 実践報告
 - ・北海道夕張高等学校
 - ・海星学院高等学校
- 16:00~17:00 交流の場

第2日目 (10月30日 水曜日)

- 9:00~11:00 分科会
- 11:20~12:00 全体会
- 12:10~12:30 閉会式

- 13 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、9月27日(金)までに北海道岩見沢農業高等学校 高文連ボランティア研究大会事務局宛に送付をお願いします。
参加申込書(Excel2007形式とExcel97-2003形式)は岩見沢農業高校HPからダウンロードできます。
(E-Mailと文書の提出をお願いします。文書の提出には職印を必ずお願いします。)

- 14 宿泊申込 宿泊等は特に斡旋いたしません。各学校で対応してください。

- 15 大会事務局 第10回全道高等学校ボランティア研究大会事務局(担当 宍戸)

〒068-0818

北海道岩見沢市並木町1番地5 北海道岩見沢農業高等学校内

TEL 0126-22-0130

FAX 0126-22-5362

E-Mail gannou-hs_41831315@hokkaido-c.ed.jp

HP <http://www.gannou.ed.jp/>

分科会のご案内

今研究大会の分科会は12の分科会を開講します。各分科会の内容は次のとおりです。服装、持ち物などの注意事項も合わせて記載しましたので、分科会選択の際には必ずご確認ください。

各分科会の活動には人数の制限がある場合があります。そのため分科会の希望は必ず第3希望までご記入ください。希望人数と受け入れ可能活動人数の関係で希望通りにならないことがありますのでご了承ください。調整後、第1希望以外の分科会となった場合は必ずご連絡致します。

第1分科会 視力障がい者の現状を知ろう

～ガイド体験とサウンドテーブルテニスに挑戦～

講師 岩見沢視力障がい者福祉協会 会長 佐々木栄一

ガイドボランティア「ほたる」

一口に視力障害といっても様々なタイプがあります。視力障がい者の方たちの現状を知り、何が問題になっているのか知る機会として下さい。また、視力障がい者の方を介助する時の基本的な知識も、実際の体験を通じて身に付けていただければと考えています。更には、視覚障害者が卓球を楽しむためのサウンドテーブルテニスに挑戦してもらいます。

※ 運動靴(外靴)持参

第2分科会 聞こえない人の生活を知って 手話体験！

～気づき、理解、そして、心を通い合す～

講師 岩見沢ろうあ協会 手話対策部長 板井田慶子

通訳者 盛藤知子

「聞こえないとは？」社会生活上、どのようなことで不便があるのかを考え・気づき・理解する機会とします。更に、手話にもチャレンジしてもらいます。ろうあ者の言葉である視覚言語の手話を通して、より豊かで、多様な手段で心を通わすコミュニケーションであることを実感して下さい。

第3分科会 精神保健福祉についての理解を深めよう

講師 NPO法人ミナミナの会 南空知地域生活支援センターりら

センター長 元井昭紀

精神障害について「あまり知らない」、「誤った知識を持っている」など、あると思います。この機会に、精神障がい者の方の置かれている状況や精神保健についての理解を深めて行き

ましよう。より理解が深まるように、精神障がい者の方が行っている労働としての作業も体験します。

第4分科会 高齢者福祉の現実と介護模擬体験 ～認知症、介護の現場から～

講師 有限会社 岩見沢在宅福祉サービス代表取締役 柴田文成

これからの日本社会が更に高齢化社会へ向かうことと認知症の発症率の増加の関係について理解を深めて行きましよう。また、認知症の介護の現場がどのようになっているのか、実例をもとに知る機会をしていきます。更に、介護の実習の一つを体験する時間をとります。

第5分科会 ボランティア活動から生まれるもの

～環境保護とCSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)～

講師 北海道コカ・コーラボトリング株式会社

広報・CSR推進部 執行役員 上島信一

道産子企業として、「北の大地とともに」成長することを願い、また責任を果たしていくことで、信頼され、選ばれる企業グループになることを目指して、水資源、自然環境保護をはじめ様々な取り組みやボランティア活動を行っています。「どんな取り組みを行っているのか」「なぜ、一企業がこのような取り組みを行うのか」など知る機会として下さい。

第6分科会 ラムサール条約登録湿地・宮島沼を 保全するための取り組みとボランティアの役割

講師 宮島沼水鳥・湿地センター 岡野香子

スライドを使って「宮島沼って何?」、「そこで何が起きているの?」などの説明をします。そして、宮島沼で行われている保全ボランティアの役割について知る機会としてもらいます。また、参加者の方たちと、保全ボランティアの一助となる展示物作成作業を一緒に行っていきます。

分科会を通じて「ラムサール条約とは」「自然を保全するとはどういうことか」考えて行きましよう。

第7分科会 私たちが進める低炭素プロジェクト

～地球温暖化・環境破壊・ゴミの削減への第一歩～

講師 岩見沢商工会議所青年部 地域活動推進室 室長 木種憲博

岩見沢農業高校ボランティア部

私たち、岩見沢商工会議所青年部は、低炭素プロジェクト『地球への恩返し』事業を進めています。町づくりを基調にしながら、このプロジェクトを岩見沢農業高校ボランティア部とともに取り組んでいます。このプロジェクトについて知ってもらう中で、みなさんが地元で貢献できる取り組みについて考える機会としていただきたいと思います。また、プロジェクトの中で、実際行っているエコキャンドル作りにも挑戦してもらいます。

※ エプロン持参

第8分科会 災害ボランティア活動に学ぶ

～日常生活でできること、被災地でなくてもできること～

講師 北海道教育大学岩見沢校 教授

NPO 法人 北海道自然体験活動サポートセンター 理事長 能條歩

東日本大震災発生時に実施した現地でのボランティア活動や震災児童の支援活動を通じて、日常的に災害に備える方法や現地に行かなくてもできるボランティア活動について考えていきます。参加者が、自分の災害に対する意識を振り返り、実際に、分科会の中で災害対策等についての調査活動も体験してもらいます。

第9分科会 人形劇を観て、創って、演じてみよう！

～創る喜び、演じる喜びを～

講師 人形劇団 こぶしっこ 代表 渡辺紀子

40代～70代の主婦で活動している「人形劇団 こぶしっこ」は、主に保育所、幼稚園、子育て支援センター、小学校、児童館、小中学校の特別支援学級等で公演しているアマチュアの劇団です。人形劇の魅力を人形劇を観るだけでなく、実際に簡単な人形を作り、それで演じて体感してもらいたいと思っています。一緒に行いましょう。

※ ハサミ持参

第 10 分科会 東南アジアの国カンボジアから、ユネスコを学ぶ

～非識字者と世界寺子屋運動～

講師 札幌ユネスコ協会 普及PR委員会

北海道大学ボランティア相談室補助員 三条匠

新十津川農業高校 浦田瞳

世界には、働かなければならなかったり学校が近くになかったりして、学校に行けない子どもが 6,100 万人もいます。そして学校に行けずに大人になり、文字の読み書きができない人が 7 億 7,500 万人もいます。そんな人々のために、ユネスコの「世界寺子屋運動」は、学びの場を作っていこうという活動をしています。カンボジアの話を中心にいま私たちのできることを考えて行きましょう。

第 11 分科会 体験しよう！ 見て聞いてみよう、フェアトレード！

～グアテマラのコーヒー、貿易ゲーム～

講師 北星学園大学経済学部教授、フェアトレード北海道代表 萱野智

篤

有限会社 マヤコーヒー 代表 高木三四郎

フェアトレード（公正貿易）とは、発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みです。このフェアトレードの意義と世界経済の仕組みについて貿易ゲームを通じて理解を深めて行きましょう。また、地元でフェアトレードを行っている方から、グアテマラのコーヒー生産者の画像を見ながら話を聞きその実践から学びましょう。

第 12 分科会 ウイグル自治区の文化を通して異文化理解と

国際協力を考える！

講師 酪農学園大学留学生 アイヌル・トゥラップ

シルクロードの中心地と呼ばれる新疆ウイグル自治区に暮らしているウイグル民族の文化について紹介と、日本に来て感じた文化の違いについて話してもらいます。このことから、文化の違いやウイグル自治区で起こっていることへの理解を深めるとともに、外国の方が、日本に来た時にどのように接することが望ましいかについて考えて行きます。更に、ウイグル自治区を例に私たちができる国際協力について考えて行きましょう。